

資料を読み、あなたの考えを600字以内で書きなさい。

★どんなテーマで書くか？

「ポリコレやコンプラを口実にした事実隠蔽と利益誘導」

★段落構成

① 資料の要約

ポリティカル・コレクトネス（ポリコレ）やコンプライアンス（コンプラ）の意識が過剰に高まり、アガサ・クリスティーの探偵小説や「桃太郎」のような昔話の表現や内容が改訂されている。

② 自分の意見・考え

たしかに、ポリコレやコンプラを配慮した表現活動（小説・映画・ドラマ・広告など）における配慮は行き過ぎとも思われる。

しかし、残酷なグリム童話の描写を書き換えてディズニー作品などが生まれるなど、作品の受け手が望むものならば、時代に合わせた改訂ともいえる。

ただし、ポリコレやコンプラへの配慮を口実に都合の悪い歴史的事実を「なかったこと」にしたり、臭いものにフタをしたりするための改変であるとしたら問題だ。

③ 意見の根拠「具体例」

私たちは過去の歴史や現代社会の事実を教科書やニュースメディアだけでなく、小説や映画、漫画などの作品を通じて間接的に学んでいる。例えば、戦争の悲惨さは歴史の教科書よりも、小説や映画、漫画などの方がより理解できる。

先日、漫画『はだしのゲン』が「子どもたちに誤解を与える恐れがある」として広島市の平和教育教材から削除された。一説ではG7サミットに向けた配慮なのではとも言われる。

④ 結論

ポリコレやコンプラを意識することは重要であり、これが表現活動に影響を与えることも当然あるだろう。読者や視聴者が望むものであれば受け入れられ、望まないものであれば一過性に終わるだろう。しかし、この潮流が過去の事実を隠蔽するために利用されたり、限られた人たちが利益を得るために使われたりするものであってはならない。